

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

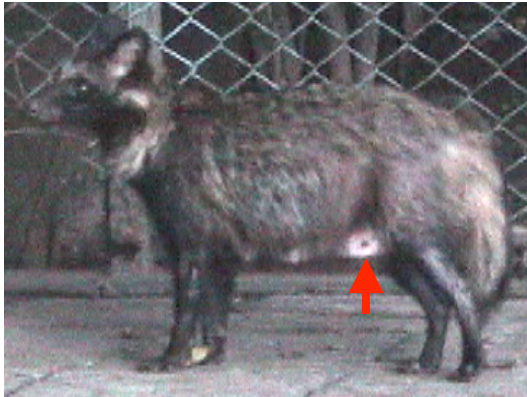
2009年7月号 通巻7号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2009

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

お母さんは今日も腹ぺこ

タヌキの個体識別はとても難しい



2007年7月撮影



2008年7月撮影

矢印の指す黒い点が乳首。撮影はいずれも東京都23区内の同じ場所。2007年の「お母さん」は体色がかなり黒く、2008年とは別個体であるのは間違いない(掲載の画像はコントラストを調整しているため、明暗は実際と異なる)。

タヌキ観察で個体識別ができれば、それぞれの性格や行動の違いが明らかになり、いろいろなことがわかるでしょう。ところが、個々のタヌキを見分けるのはとても難しいものです。個体識別をするには体の模様の違いに注目するのが一番ですが、はっきりとした違いはなかなか見つからないものです。しかも観察はたいてい夜、近づくのも難しいので細部までじっくり見ることはできません。さらに、冬毛と夏毛では印象がかなり変わるため、ますます識別は難しくなります。

そんな中でも例外的に個体識別ができることがあります。

乳首が見えた！？

昨年の夏、東京都23区某所でタヌキを観察していた私は、あるタヌキの脇腹に小さな黒い模様があるのを発見しました。暗い場所でもはっきりと見え、毛の一部が黒くなっているのではなさそうです。タヌキが近

づいた時、私はその模様をのぞきこんでみました。「んん…？ 今のは乳首!？」このタヌキは子育て中の親、乳首が見えるということは「お母さん」なのです！

乳首には子どもたちが吸いつくため、毛が薄くなって乳首が見えるようになるのでしょう。タヌキもイヌと同じくもっとたくさんの乳首があるはずですが、一番後方の乳首はよく見えるようです。

お母さんがはっきりと判別できるようになった結果、新たにわかったことがありました。お母さんは子どもをなめる様子がたびたび観察されました。一方、お父さんはほとんど姿を現しませんでした。この場所はネコのエサ場でもあり、タヌキ一家がよく現れたのですが、お母さんはかなりひんぱんに姿を見せていました。どうも子育て中はかなり体力を使うらしく、おなかをすかしているのではないだろうか、と私は推測しました。

個体識別は最重要課題

タヌキは個体識別だけでなく性別の区別すら困難です。お母さんが判別できるだけでもタヌキ観察には大きな前進です。ただし、子育てが終わって秋になると冬毛が伸びてくるので乳首も見えなくなってしまいます。お母さんだと判別できるのは夏限定なのです。

個体識別は東京タヌキ研究の最重要課題のひとつです。ただ、そのためには長期間安定して観察できる場所も必要です。残念ながら23区にはそのような場所はなかなかないのが実情です。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>